

報 廣 し ば た



はばたけ世界へ
南東北総体 2017

繋がる絆 魅せよう僕らの若さ

8月17日(木)から20日(日)にかけて、平成29年度全国高等学校総合体育大会「はばたけ世界へ南東北総体2017」の男子水球が、柴田町のヒルズ県南総合プールで開催されました。主催都道府県代表の柴田高等学校は、シードとして2回戦からの出場でした。試合に敗れはしましたが、地元の大声援に後押しされた選手たちは、力の限り水上のボールを追いかけ、会場を大いに湧かせてくれました。

【写真:8月18日(金) 2回戦 宮城県柴田高等学校 8対22 鹿児島県立鹿児島南高等学校】

特集 得する街のゼミナール

まちゼミ in しばた



7月1日(土)から7月29日(土)にかけて、柴田町商工会（会長：大槻裕喜）主催の「まちゼミ in しばた」が開催されました。

得する街のゼミナール、通称「まちゼミ」は、お店の方が講師となって専門知識やプロのコツ、趣味のことを原則無料で教える少人数のミニ講座です。

愛知県岡崎市で始まったこの取組みは全国的に広がり、これまでに250箇所以上で開催されています。

柴田町商工会では昨年度から開催の準備を進め、町内15店舗による22講座が実施されました。

いくつかの講座の様子を紹介します。

主催：柴田町商工会 ☎54-2207

問 商工観光課 ☎55-2123

講座	開催店舗	講座	開催店舗
その時代とヘアスタイル	ヘアサロン・フナヤマ駅前店	A・B・CでLet'sフラワー	有限会社花升園船岡店
聞いてみようお金の育てかた	株式会社仙台銀行船岡支店	パソコンを使わないホームページ作成講座	Pirca.net（ピリカネット）
写真って楽しい！を感じる入門講座	株式会社木村スタジオ	人形浄瑠璃マメ知識	
簡単なヒゲの手入れの仕方	ヘアサロンふなやま	おいしい珈琲を淹れるコツを伝えます	
家具について知りたい！	みちのく工芸	焙煎度合いで変化する珈琲の味くらべ！	フリゴレス
暮らしを楽しむ花達との出会い、花達への秘技	有限会社花升園槻木店	産地が違う珈琲の飲み比べ	
知って得する土地選びのコツ	株式会社サカモト	初めてのアロマセラピー、爽やかスプレー作り	
モザイク寿してミニパーティーを！	花菜カフェ	庭仕事の後は潤いアロマハンドクリーム	アロマセラピーおこじょらいふ
ナル・コンで見えた!! 異性に好かれる方法		癒しのアロマヘッドスパ体験！	
ナル・キチの名物料理を考えよう！	ナルミ・キッチン	親子で出来るスポーツ後のお家でケア	KURA接骨院
幸せになる「ポジティブ脳の作り方」		試食会！「効きパン」やってみましょう！	手作り工房「パン日和」



最後に、実際に作業をしている工場の中も見学させてもらいました。

樹齢300年の原木を約30年かけて乾燥させてから板を切り出して組み立て、漆を塗って仕上げるまでの手間のかかるその工程に受講者は感心していました。

最後に、実際に作業をしている工場の中も見学させてもらいました。

家具について 知りたい！

上川名地区で伝統ある仙

台箆笥を作り続けている

「みちのく工芸」の高橋茂

治さんから仙台箆笥の歴史

や作り方について学びまし

た。

幸せになる 「ポジティブ脳の作り方」

船岡新栄地区のレストラ
ン「ナルミ・キッチン」を
夫婦で経営する鳴海智江さ
んが、ポジティブに生きる
ための秘訣を伝授しました。
受講者は、コーヒーと手
作りのシフォンケーキをい
ただきながら、いつも笑顔
で前向きな鳴海さんの実体
験をもとにした説得力のあ
るお話に引き込まれ、受講
者同士でも話が弾んでいま
した。

産地が違う 珈琲の飲み比べ

船岡新栄地区のコーヒー
焙煎店「フリゴレス」の畑
山良恵さんから異なる産地
のコーヒー豆の特徴を教わ
りながら、実際に淹れたて
のコーヒーの飲み比べをし
ました。
コーヒーを淹れるのに最
適な温度やコーヒー豆の保
管の仕方、美味しいコー
ヒーの淹れ方のコツや道具
について熱心にメモを取り
ながら質問する受講者の姿
が見られました。

試食会！「効きパン」 やってみましょう！

まちづくり推進センター
「ゆる・ぷら」を会場に、
手作り工房「パン日和」の
高橋実沙子さんから小麦や
トウモロコシ、ライ麦など
異なる材料で作ったパンの
風味の違いや、どのような
料理に合うかなどを、実際
に食べ比べをしながら教わ
りました。
受講者は、それぞれの風
味や食感の違いについて感
想を述べ合いながら、焼き
たてのパンを味わっていま
した。

モザイク寿司で ミニパーティーを！

船岡城址公園にある柴田
町観光物産交流館「さくら
の里」の喫茶コーナー「花
菜カフェ」の加茂富枝さん
から、牛乳パックを利用す
ることで簡単にできる押し
寿司の作り方を教わりまし
た。
数種類の押し寿司を彩り
よく組み合わせた「モザイ
ク寿司」が出来上がると受
講者からは、「彩りがきれ
い」、「簡単なので家でもす
ぐに作れそう」などの声が
聞かれました。

町で初めての開催となつ
た「まちゼミ」は、期間中
延べ109人の方が受講し
ました。

受講者からは、「こう
いった機会があると、初め
てのお店でも入りやすいで
す」、「もっとたくさんのお
店で開催して欲しいです」
などの感想が聞かれました。
また、開催したお店の方か
らは、「広告を出しても限
界があります。こうして興
味を持ってお店に来てくれ
ることがたいへんありがた
いです」との声が聞かれま
した。




主催した柴田町商工会の
日下副参事は、「今回は地
方創生推進交付金事業の一
環として町からの補助金を
活用して実施しましたが、
今後は徐々に自主的な開催
に移行したいです。また、
参加店舗や講座の内容につ
いても、今回の反省点を踏
まえてより良いものにして
いきたいです」と話してく
れました。

ザ・フェスティバル in しばた2017

7月29日(土)、「ザ・フェスティバル in しばた2017」が陸上自衛隊船岡駐屯地内で開催されました。長引く梅雨の影響で時折雨が降る中での開催となりましたが、約7,200人の来場者で賑わいました。

フェスティバルは、力強い「よさこい演舞」で幕を開け、子どもたちの可愛いチアダンス、伝統的な「縦の木音頭」や自衛隊音楽隊とフラッグ隊の共演、ゴスペルなどたくさんの催しが特設会場で披露され、大いに盛り上がりました。

辺りが暗くなり、時折強く降っていた雨も次第に弱まる中、夜空に約3,000発の鮮やかな花火が打ち上げられました。観客からは大きな歓声と拍手が送られ、フェスティバルは幕を閉じました。

- 
- ① 柴田町「美翔連」ほか7団体によるよさこい演舞
 - ② 仙南総合プールチアの元気いっぱいのダンス
 - ③ 自衛隊音楽隊とフラッグ隊の華麗な共演
 - ④ 町外の祭友会も応援に駆け付けた神輿渡し
 - ⑤ 来場者も一緒に踊った「縦の木音頭」
 - ⑥ 5人の美しいコーラス「JOY さくら」





高齢化社会が急速に進展したことで、これまでは考えられないような事件や事故が起きています。最近頻繁に報道されるのが高齢者が運転する車の暴走や高速道路での

逆走による事故です。また、相変わらず減らない高齢者をターゲットにしたオレオレ詐欺や高齢者による万引きも問題となっています。

特に気になっているのが孤独死の問題です。孤独死とは「誰にも看取られることなく息を引き取ること」と定義されています。亡くなられてから数日後に発見されたというケースが年々増加傾向にあります。宮城県内では、2016年に903人を数え、過去10年間で最多となり、うち約7割は男性でした。これまでは大都市で起こる特異なケースと思っ

ていましたが、柴田町においても、孤独死と思われるケースが散見されるようになり、報告を受けるたびに心を痛めています。

その背景の一つとして挙げられているのが、結婚しない単身世帯や一人暮らしの高齢者の増加です。特に、一人暮らしの単身男性は、定年を迎えると同時に、これまでの会社を中心とした人間関係が希

孤独死について

薄化するため、女性に比べて孤立するリスクが高くなりがちです。また、地域においては、お隣同士の御近所づきあいが少なくなり、「お互い様」とか「助け合い」とかといった地域の包容力が低下してきたことも、孤独死の増加に拍車をかける大きな要因となっています。

孤独死を防ぐためには、なんといいっても誰もが社会から孤立しないようにすることが大事です。

東京都江戸川区のなぎさニュータウンでは、住民同士が「助け合いの会」をつくって、有償での身体介護や生活介助や付き添い等を行い、孤立しない地域社会づくりに取り組んでいます。役所は役所で、安否確認や居場所づくりを通じて、孤立による孤独死を発生させないようにしています。しかし、一番肝心なのは、やはり本人自らが日頃から、家族はもとより、地域において多くの縁をつむぐ努力をしておくことが大事ではないかと思えます。町には老人クラブの活動やスポーツ、文化、ボランティア活動等つながりをつくる場が数多くあります。

また、9月には、各地で敬老会も開かれます。まずは、こうした活動や行事に参加し、自ら地域社会から孤立しないよう心がけていただければと思っています。

郷土史めぐり

さし絵のはなし①

柴田町文化財保護委員 山家 美智子

柴田町文化財保護委員会が編集・出版した「しばたの歴史ガイド」のさし絵を担当した山家美智子さんのお話を3回にわたってご紹介します。

「文化財」は過去の残存物を振り返るだけでなく、過去を知ったうえで未来はどうするのか考えるためのものでもあります。未来の住人になる若い人達こそ表紙を飾るのにふさわしい、そう思って表紙に二人の山ガールを描きました。

さし絵があれば想像が具体化します。縄文時代の土器のかけら、食卓には温かい貝や魚の料理が並び、器からは中越地方との交易があったこともわかります。

遺物からは人々は犬を大切に飼い、おだやかに暮らしていただろうと想像できます。それを絵にするために、人々の体型や髪型、衣服やアクセサリ、料理は男女どちらがしたのか、煮炊きは煙を逃がす構造が見つかるまで家の外でしていたのだろうか。その住居はどんな形だったのか。一枚の絵を描くまでにたくさん資料を提供していただき、縄文人の暮らしのさし絵ができました。





健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ38

健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

38回のテーマは、「医療機関の上手なかかり方」です。

日頃から医療機関の上手なかかり方を心がけることは、スムーズな受診につながるばかりでなく、地域の医療を守り、支えることにもつながります。医療は限りある資源です。上手に利用しましょう。

■医療機関の上手なかかり方

①かかりつけ医を持ちましょう

大きな病気になってから「どの病院に行こうか」と慌てないために、日頃から自分や家族の健康を管理してくれる「かかりつけ医」を持ちましょう。必要に応じて、適切な専門医を指示・紹介してもらえます。

②メモをとりましょう

医師に伝えたいことをあらかじめメモしておきましょう。また、医師から説明を受けたらメモをとりましょう。

③お薬手帳を活用しましょう

複数の医療機関にかかっている方は、お薬手帳を一冊にまとめましょう。薬の重複処方や飲み合わせによる副作用を防ぐことができます。

④緊急時に備えましょう

持病やかかりつけ医のメモや診察券・お薬手帳をまとめ、家族が分かるところに置いておきましょう。

■緊急時の対応

重大なけがや病気の可能性がある場合、いつもと違う場合、様子がおかしい場合は、ためらわずに「119番」に連絡してください。

調子が悪いなと感じたら、早めにかかりつけ医に診てもらいましょう。

■判断に迷ったときは、救急電話相談窓口があります。

①子ども夜間安心コール TEL# 8000 (毎日 19:00～翌8:00)

②おとな救急電話相談 TEL# 7119 (10月1日開始)



■平日夜間や休日の診療を行なっています。

①平日夜間初期救急外来「仙南夜間初期急患センター」(みやぎ県南中核病院正面駐車場敷地内)

診療科目 内科(中学生以上) (平日 18:45～21:30) TEL 0224-51-9986

②「休日急患当番医」(町の「お知らせ版」毎月1日号の最終ページに掲載しています)

診療時間 休日 9:00～17:00

9月9日は「救急の日」、9月3日から9月9日は「救急医療週間」です。

柴田町の救急車の出動件数は、平成26年1,390件、平成27年1,506件、平成28年1,542件と、年々増えています。救急医療を必要としている誰もがスムーズに利用できるようご協力をお願いします。



広 告

広 告

まちかど NEWS



当日はあいにくの悪天候でしたが、約1,000人が来場しました

「第3回しばたJam+Jam手作り市」

7月30日(日)、しばたの郷土館で、「第3回しばたJam+Jam手作り市」が開催されました。この企画は、主に船岡地区に住む小学生の母親のグループや町内で飲食店を経営している方たちを中心となって実行委員会を立ち上げ、一昨年から開催しているものです。

雑貨や飲食の販売、手作り雑貨のワークショップなど計26のブースが並んだほか即興絵画のパフォーマンスなども行われ、会場は賑やかな雰囲気にもなっていました。

小学生の職業体験ブース「Jamワークショップ」で手作りアクセサリを販売した森彩七恵さん(船岡小5年)は、「販売する物の企画から作製まで、私たち小学生6人で行いました。接客が難しいけれど楽しかったです」と話してくれました。



ペイントアーティストさとうたけしさんのライブパフォーマンスが行われました

放課後先生「仙台大塾」開講

7月25日(月)、仙台大学で教員を志す大学生が子どもたちの学習を支援する「仙台大塾」の開講式が開催されました。「仙台大塾」は、子どもたちをトップアスリートに育てるための体制づくりや指導者育成のため、町が人材豊かな仙台大学に委託している「トップアスリート育成事業」の一環として行っているものです。

講師となる学生35人を代表して千葉尚さん(体育学科4年)が、「皆さんと勉強できるのを楽しみにしていました。短い期間ですが一緒に頑張りましょう」と、塾生となる町内の小学生182人を前にあいさつし、8回にわたる学習塾が始まりました。



子どもたちは夏休みの課題を持ち寄り、分からないところを質問していました



NPO法人コメリ災害対策センターとの協定締結は、県内自治体で22例目となります

災害時支援協定締結

7月14日(金)、町と株式会社コメリが運営するNPO法人コメリ災害対策センターとの間で、「災害時における物資供給に関する協定」を締結し、協定書の取り交わし式が行われました。

この協定により、災害発生時に町が支援を要請すると、ブルーシートや土のう袋などの作業資材や日用品を全国の店舗や物流センターから優先的に供給してもらうことができるようになります。

滝口町長は、「いつ起こるか分からない災害に対する備えは重要です。このような協定があることはたいへん心強いです」と話しました。

寄贈ありがとうございました

NEWS

7月18日(火)、株式会社中央特殊興業(本社：山形県山形市)から町に交通安全グッズの寄贈がありました。

町内に営業所(船岡字大森)を構える株式会社中央特殊興業は、産業廃棄物・排水の中間処理業務や浄化槽の保守点検業務などを行っています。

子どもたちの育成支援事業を積極的に行っている同社の酒井和彦代表取締役から「子どもたちの交通安全に役立ててほしいです」と、横断歩道などに設置するストップマークが溝口町長に手渡されました。



ストップマーク200個を寄贈していただきました



バレーボールでは船迫チエリースポーツ少年団が惜しくも準優勝

伊達開拓ふるさと従兄弟(いとこ)スポーツ祭

7月29日(土)、亘理町を会場に、「伊達開拓ふるさと従兄弟スポーツ祭」が開催されました。伊達開拓に関わる北海道伊達市、福島県新地町、亘理町、山元町、柴田町の5市町が歴史的な絆を確かかなものにするため2年に1度開催されているもので、小学生たちがバレーボール、柔道の二種目のスポーツで交流試合を行いました。

柔道競技の3・4年生男子の部で優勝した仙台大学柔道塾の齋藤誠祐さん(船岡小4年)は、「諦めずに技をたくさんかけ、逆転で勝てよかったです」と笑顔を見せてくれました。

町特産の菊を直売「盆菊まつり」

NEWS

8月9日(水)から13日(日)にかけて「柴田町地産地消推進協議会」に加盟する町内5カ所の直売所で、町特産の菊を販売する「盆菊まつり」が開催されました。各直売所にはお供え用の菊を買い求める多くの方が訪れていました。

農産物直売所「みでがいん」(葉坂字棧敷場)を訪れていた白石市在住の佐久間さんは、「実家が葉坂地区で、今日はお墓参りに来ました。地元産の菊が手に入るののでよく直売所を利用しています」と話してくれました。



盆菊のほかに朝採り野菜、惣菜などが販売され、抽選会も行われました



新小路子ども会によるO×ゲームやジャンケン大会も行われました

夏の思い出... 第6A区夏まつり

8月5日(土)、船岡町民体育館駐車場を会場に平成29年度第6A区夏まつりが行われました。

地区の皆さんによる焼きそば、焼き鳥、カキ氷などの模擬店が立ち並び、子どもたちのゲーム大会、ジャズバンドの演奏や盆踊りなども行われ、大いに盛り上がりました。

高橋幸祐さん(船岡小6年)は、「いろいろな出店があったて楽しかったです。ジャンケン大会で最後まで勝ち残りました」と、賞品の花火を手嬉しそうに話してくれました。

広告

広告

町長へのメッセージ 皆さんの声をお聴かせください

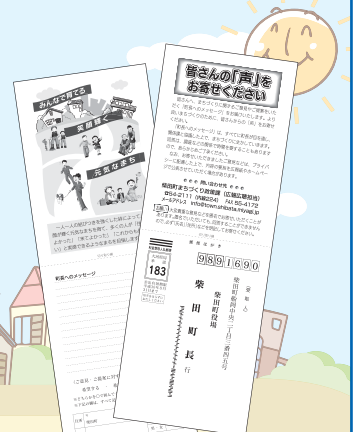
町政について「このようにして欲しい」「こんなことを取り入れたらどうだろう」と思っていることはありませんか。

町では、より良いまちづくりのために、町民の皆さんからご意見をいただき、町政に生かしていきたいと考えています。

今月号には、皆さんからのご意見・ご提案をいただくために「町長へのメッセージ」のはがきを折り込みました。

お寄せいただいたご意見などは、町長がすべてに目を通して、関係各課と協議し、政策立案の参考にさせていただきます。なお、お寄せいただいたご意見などの内容の要旨を、プライバシーに配慮して「広報しばた」「町ホームページ」に掲載させていただきます場合があります。あらかじめご了承ください。

※大変貴重な意見などを匿名でお寄せいただくことがあります。匿名でいただいても、回答することができませんので、必ず「氏名」「住所」を明記してお寄せください。



こうほう 文芸

短歌

明治村小学校のオルガンが
母の時代の音を奏でる
船岡 可沼 妙子

子ら立ちて姿勢正しく立葵い
背比べして初夏の道端
船岡 伊藤タイ子

ブルダンプ好きなページで昼寝して
孫の工事は今日ほどこまで
本船迫 森田 真六

街道の過疎かのどかな七ヶ宿
コンビニニ生れ此々が社交場
大槻 信吉

永遠に心に残るほほえみの
日野原先生のつつみこむ愛
船岡 沢田 順子

紫陽花の道をのぼって不忘山
青き稜線ふく風さやか
関 美恵子

病院の待合室はおだやかに
頭の中は短歌のことのみ
谷澤みな子

日常座臥快適の念少なきも
尚存全の意気失せるなし
四日市場 大久保義正

川柳

万歳とノートに記して父は逝く
船岡 臥竜の娘

若いよねいわれてそつと背をのぼす
槻木 大宮 二郎

歳かさね出てくる言葉はあれこれこれ
船岡 小林 夢子

暑気払い手製甘きけ友の愛
槻木 村上 紫寿

賞味期限守らなければ嫌われる
船岡 阿部美代子

天照大神何時まで雲に隠れん坊
西船迫 渡辺 晴江

球を打つ仲間同士の誉め言葉
西船迫 後藤 文子

脳トレに川柳詠みて歳かさね
西船迫 舟廻めぐる

買い物は車でちかくは散歩で
西船迫 安ヶ平良三

冠の正しすぎです安倍総理
西船迫 三澤 精一

新盆で主人に逢へる夢を見た
槻木 つきのき町子

俳句

万緑の木洩れ日映す句帳かな
下名生 笠松ふみ子

ハマレの蜻のカラアゲいと美味し
船岡 可沼 妙子

静かなるお寺のお経とせみの声
西船迫 下浦 智子

うすゆき草マッターホルンにて初デート
西船迫 安ヶ平奈津枝

星屑に我が想い乗せ便り書く
船岡 安藤 節子

夏の夜や猫のデートのありありと
葦神 葛

蓋ずらし水甕に月入れてやる
石母田 星入

身ほとりに増ゆる雑事や秋の風
鈴木 三山

現し身を吹き抜けにける秋の風
相馬カツオ

三井寺の晩鐘蛇は穴に入る
鈴木 幸子

玉眼の秘佛おはすや初紅葉
鈴木 清子

あぎやかに御朱印の文字秋高し
鎌形 清司

秋の風爆買おはる銀座かな
小島 米子

かなかなやいま夕飯の準備中
齋藤 善則

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで9月13日(水)までご応募ください。 圃 まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告



柴田町の 記憶 をたどって

実りの秋。稲穂が黄金色に輝き、
収穫の季節を迎えます。
昭和40年頃の稲刈りの風景です。



昭和40年、槻木新遠島地区。
まだ機械が広く普及する前の稲刈りの様子です。

昭和38年、下名生地区。
こちらは今も変わらない「はせ掛け」
をする様子です。



こども美術館



石毛 晴花 さん
いしげ はるか

船岡小学校5年

「5-1「1」の手」(絵)



「うんどうかい」(絵)

船岡小学校1年

遠藤 優愛 さん
えん どう ゆう あ

広 告

広 告

広報 **しばた** 有料広告募集中!

お店や会社のPRに

「広報しばた」に掲載する広告を募集しています。
お店や会社のPRなど、暮らしに役立つ広告をお
待ちしています。掲載料金などの詳しい内容につ
いては、お問い合わせください。

☎まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

思いを胸に Vol.47

『感謝の気持ちを忘れずに仕事をしています』

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



エアコンの設置作業をする高橋さん

高橋電気商会

高橋 淳児さん(40歳)
たかはし じゅんじ

槻木新町地区にある高橋電気商会は、テレビやエアコン、洗濯機などの電化製品の販売・修理や宅内の配線工事を行っているほか、町の上下水道工事指定店として一般家庭の給排水設備の工事を行っています。

「以前は父と母が電化製品の販売や修理の仕事を、祖父が給排水設備工事の仕事をしていました。父と祖父が亡くなってからもお客さんは頼りにしてくれていまして、どちらもやめられませんね」と、2つの業種を手掛けている訳を笑顔で話すのは、入社20年目の高橋淳児さんです。

高校卒業後、専門学校で電気工事について2年間学んだ後に入社し、以前は分担任で行っていた電気と水道の両方の仕事を行っています。

高校生の時にお父さまを亡くされた高橋さんは、主におじいさまから仕事を教わったそうです。「祖父は細かいところまで手を抜かず、丁寧な仕事をする人でした。今こうして仕事をいただけているのはそのおかげです。お客さんも期待してくれているので、それを裏切らないように応えていきたいです」と話してくれました。また、「これまで仕事をやってこられたのは、お客さんや周りの方の助けがあったからだと思います。とにかく感謝しかありません」と話します。

中学・高校時代に砲丸投げをしていたというだけあってとてもがっしりとした体つきの高橋さん。体を動かすことが好きで、仕事が忙しくあまり休みがとれない中、月に2、3回地区のソフトボールで汗を流すのが唯一の楽しみだそうです。

お話を伺っているときに何度も「感謝しありがとうございます」という言葉を口にされているのが印象的でした。そんな高橋さんが、お客さまから「ありがとう」といわれます。逆に感謝されている姿が目に見えます。これからも頑張ってください。

高橋電気商会

柴田町槻木新町1丁目3-26
TEL 0224-56-1610



昭和29年設立。一般家庭向けの電化製品の販売・修理、宅内配線工事を行うほか、町の排水設備指定工事店・指定給水装置工事事業者として給排水設備の工事を手掛ける。従業員4人。

人口と世帯数

(平成29年8月1日現在)



38,069人
(前月比48人減)



19,044人
(前月比45人減)



19,025人
(前月比3人減)



15,599世帯
(前月比20世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。